



学校評価（12月実施）教職員自己評価・生徒・保護者アンケート結果（その1）

本校は県・市の教育方針のもと、下記「学校経営の5つの柱と10の重点事項」により教育活動を推進しています。12月に重点事項10項目と小中共通課題1項目について、第2回学校自己評価(生徒・保護者・教職員アンケート)を実施しました。本号からその結果についてお知らせしてまいります。

1 「創造：進んで学び挑戦する生徒の育成」

- (1) 「誰一人取り残さない」視点による学習指導
- (2) 主体的・対話的で深い学びによる活学力の育成

2 「自立：自ら考え判断しやり遂げる生徒の育成」

- (1) 協力・協働して物事をやり遂げる生徒の育成
- (2) 自主的・主体的に取り組む生徒の育成

3 「健康：たくましい心と体をもつ生徒の育成」

- (1) 「誰一人取り残さない」視点による組織的な支援
- (2) 生徒の健康・体力の維持向上

4 「高瀬小・中コミュニティ・スクール」

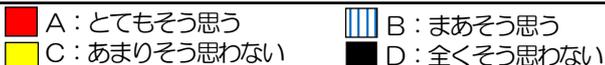
- (1) 高瀬小・中9年間を通じた教育活動の推進
- (2) 地域学校協働活動の推進

5 「保護者・地域・関係機関との連携」

- (1) 保護者との信頼関係の構築
- (2) 教育活動に関する不断の情報発信

* 小中共通課題

- (1) あいさつがしっかりできる児童生徒の育成

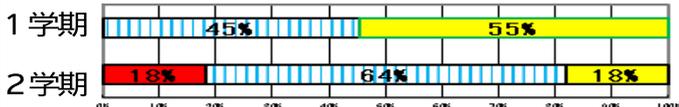


1 「創造：進んで学び挑戦する生徒の育成」

(1) 「誰一人取り残さない」視点による学習指導

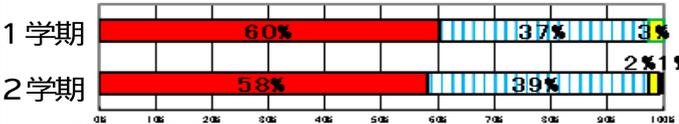
①教職員自己評価結果

ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」により、分かりやすい授業づくりに努めた。



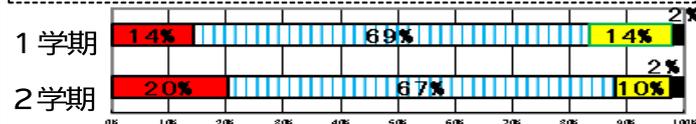
②生徒アンケート結果

各教科でタブレット（ロイロノート）やデジタル教科書等が用いられ、授業が分かりやすく、授業内容が理解できた。



③保護者アンケート結果

お子様は、タブレットやデジタル教科書の活用により、授業が分かりやすいと感じている。



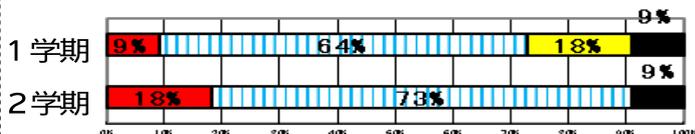
④ 考察(成果と課題)

ICTを活用した分かりやすい授業改善に努めてきた結果、教員のA+B評価が、1学期45%→2学期82%と改善が見られました。生徒のA+B評価は1学期同様極めて高く、「タブレットを活用でき、授業が分かりやすかった」との意欲ある記述も見られました。今後も「個別最適な学び」と「協働的な学び」を目指し、ICTの効果的な活用による分かりやすい授業作りを追求してまいります。

(2) 主体的・対話的で深い学びによる活学力の育成

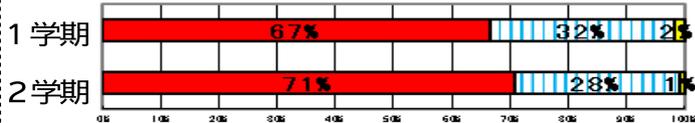
①教職員自己評価結果

「学び合い」や「話し合い」等による主体的・対話的な学習活動を工夫し、活学力の育成に努めた。



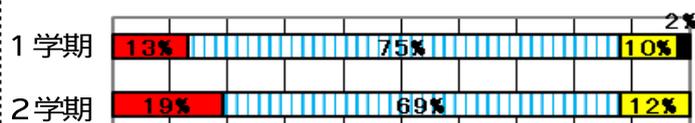
②生徒アンケート結果

班やペアでの「学び合い」や「話し合い」により、考えや理解を深めたり広げたりすることができた。



③保護者アンケート結果

お子様は、班やペアでの学び合いにより、考えや理解を深めたり広げたりできると言っている。



④ 考察(成果と課題)

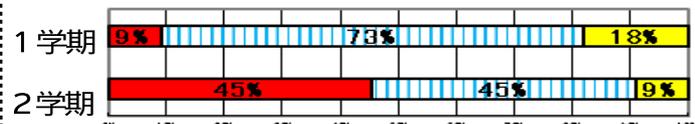
2学期も授業において班やペア等による学び合いや話し合い活動を行っています。教員A+B評価73%→91%と改善が見られました。生徒のA+B評価が1学期同様きわめて高く、「友達と教え合いながら授業に取り組むことができた」との記述が1学期同様見られました。今後も読む・聞く・話す・書く活動の充実にも努め、活学力の育成を図ってまいります。

2 「自立：自ら考え判断しやり遂げる生徒の育成」

(1)協力・協働して物事をやり遂げる生徒の育成

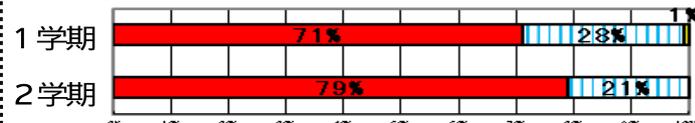
①教職員自己評価結果

道徳や特別活動等を通して、相手を尊重し、協力・協働してやり遂げる生徒の育成に努めた。



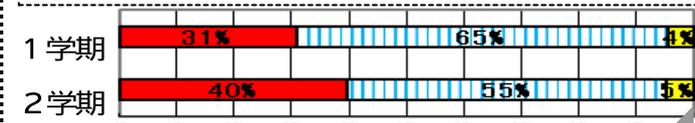
②生徒アンケート結果

授業や生徒会活動、部活動、学校行事等で、相手を尊重し、みんなと協力してものごとをやり遂げる事ができた。



③保護者アンケート結果

お子様は、相手を尊重し、みんなと協力してものごとをやり遂げている。



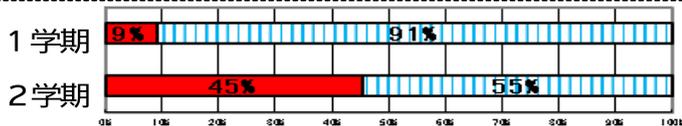
④ 考察(成果と課題)

2学期も1学期同様生徒、保護者共にA+Bの評価が高い値を示しています。今学期は、のぞみ祭等の行事を通し、皆で協力・協働して物事に取り組むことによって、やり遂げる喜びや充実感を得ることができたのではないかと考えます。今後も様々な行事等を通して、お子様の社会性や人間性を育んでまいります。

(2) 自主的・主体的に取り組む生徒の育成

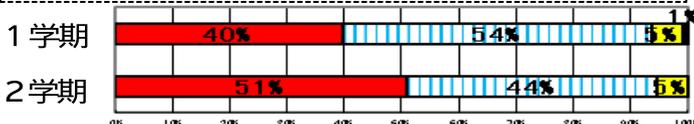
①教職員自己評価結果

生徒会活動や係活動を通して、物事に自主的・主体的に取り組むことができる生徒の育成に努めた。



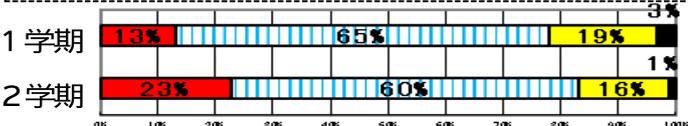
②生徒アンケート結果

生徒会活動、部活動、学校行事等で、自ら進んで行動(自主性)したり、自ら考えて行動(主体性)したりすることができた。



③保護者アンケート結果

お子様は、ものごとに自ら進んで行動(自主性)したり、自ら考えて行動(主体性)したりしている。



④ 考察(成果と課題)

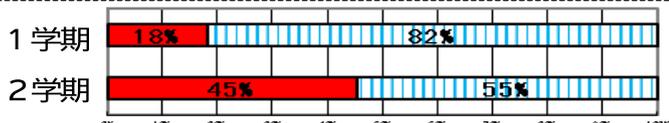
2学期において、日頃の授業や行事において、生徒が課題意識をもち、自主的・主体的に活動する機会を充実させ、諸活動を通して何事にも自主的・主体的に取り組む生徒を育てようと活動に取り組んでまいりました。1学期と2学期の評価を比較すると教職員、生徒、保護者ともにA評価が増加しています。生徒たちが着実に成長し、学校と家庭において自分から行動したりする場面が増えてきているとも言えます。今後も様々な教育活動で、自ら進んで物事に取り組むことができるような支援や指導を継続してまいります。

3 「健康：たくましい心と体をもつ生徒の育成」

(1) 「誰一人取り残さない」視点による組織的な支援

①教職員自己評価結果

SCや関係機関との連携、支援計画・アンケートの活用により、いじめや不登校等への組織的支援に努めた。



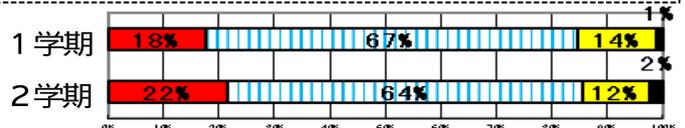
②生徒アンケート結果

先生やスクールカウンセラーが自分のことを理解し、支援してくれるので、安心して学校生活を送ることができた。



③保護者アンケート結果

お子様は、教職員やスクールカウンセラーが理解し、支援してくれるので安心して学校生活を送っている。



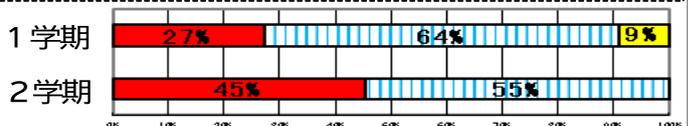
④ 考察(成果と課題)

今学期も「誰一人取り残さない」視点による組織的な支援を生徒支援委員会を中心として進めています。今後も全教職員で生徒の皆さんとのつながりを大切にスクールカウンセラーとの連携やいじめアンケートを活用しての支援に努めること、保護者の方との信頼関係を築くことを大切にして支援を進めてまいります。

(2) 生徒の健康・体力の維持向上

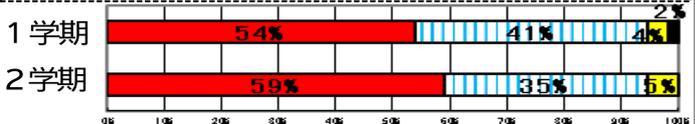
①教職員自己評価結果

保健体育科、部活動、養護教諭と連携し、生徒の体力向上や食育・肥満防止・歯科健康等の健康教育に努めた。



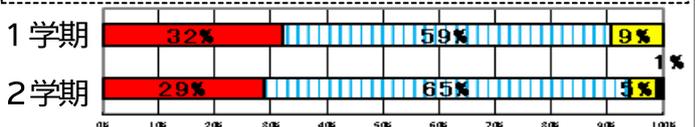
②生徒アンケート結果

保健体育科の授業や部活動、「朝食週間」や「一斉歯磨き」などの保健に関する活動により、体力向上や健康について心がけたり実践したりした。



③保護者アンケート結果

お子様は、保健体育の授業や部活動、「朝食週間」、「一斉歯磨き」等により、体力向上や健康についての意識や実践力を高めている。



④ 考察(成果と課題)

2学期も1学期同様、教員・生徒・保護者のA+B評価で高い値を示しています。健康での大切さが理解されていると考えます。

高瀬小中コミュニティ・スクール(CS)では、SDGs 17の目標に関連する食育の推進や眼科・歯科受診率向上の取組、体力の向上等に向け、ご家庭や地域との連携を図りながら、健康な心と身体作りを目指して今後も取り組んでまいります。



お世話になりました

高瀬小中CS「第3回あいさつ運動」終了



12月13日(水)からPTA本部役員、学年委員の保護者の方、学校運営協議会委員の皆様にお世話になりながら、高瀬郵便局下横断歩道と中学校テニスコート下

横断歩道で、登校指導を行いながら、朝のあいさつ運動が行われました。雨の日や朝の冷え込みの厳しい中ではありましたが、ご協力ありがとうございました。